

自主防災組織だより

No.H24-1号
多摩市役所 平成24年7月
〒206-8666
発行 総務部防災安全課
☎042-338-6802

新しい仲間が増えました！

平成23年度は、12月以降、新たに2つの自主防災組織が、また平成24年度は、新たに1つの自主防災組織が結成され、合計163組織となりました。(平成24年7月現在)

<平成23年度12月以降>

自主防災組織 No.162 ライオンズマンション多摩永山ヒルズ管理組合防災委員会(乞田)

自主防災組織 No.163 鶴牧5丁目西町会防災委員会(鶴牧五丁目)

<平成24年度>

自主防災組織 No.164 アルテヴィータ自主防災組織(鶴牧一丁目)

☆近隣の自主防災組織は、互いに協力・連携して防災意識を高めましょう！☆

防災行政無線などを用いた全国一斉の

緊急情報の伝達試験の実施について



多摩市では、地震や武力攻撃などの災害時に、全国瞬時警報システム(J-ALERT)ジェイ・アラートから送られてくる国からの緊急情報を、さまざまな情報伝達手段を用いて確実に皆様へお伝えするため、市内で緊急情報伝達手段の試験を行います。

◇実施日時

平成24年9月12日(水) 午前10時00分ごろと10時30分ごろの2回実施します。

◇情報伝達手段

市内114ヶ所に設置してある防災行政無線から、毎日実施している見守り放送と同じくらいの音量で一斉に放送されます。

◇放送内容

「これは試験放送です。」×3回+「こちらは、ぼうさい多摩市です。」+防災行政無線チャイム

◇その他

多摩市以外の地域でも、全国的にさまざまな情報手段で試験が実施されます。

防災情報を配信しています！

市で把握した気象情報、水防情報及び地震情報などの防災情報をメールで配信しています。配信時間帯は、原則として市役所が開庁している時間帯です。(緊急の場合は、随時配信の予定) 配信を希望する方は、公式モバイルサイトのメール配信サービスから登録をしてください。

公式モバイルサイトはこちら→ (<http://mobile.city.tama.tokyo.jp/>) QRコード→

緊急連絡



※なお、情報提供料は無料ですが、受信料及びメールを利用する環境、接続などに関する費用は自己負担となります。

東京版救急受診ガイド

東京版 救急受診ガイドについて

◎ 東京版 救急受診ガイドの作成について

東京消防庁救急相談センターへの救急相談の増加等、需要の高まりを背景として、インターネット等の利便性の高い方法により、電話での救急相談に準じた内容を提供する必要が高まってきました。

このことから、19の症状について、傷病の緊急性や医療機関受診の必要性を都民自ら確認できる東京版救急受診ガイドを作成しました。

◎ 情報提供開始等

平成24年2月に冊子版を都民に提供開始するとともにウェブ版については、東京消防庁ホームページ上での提供を開始しています。

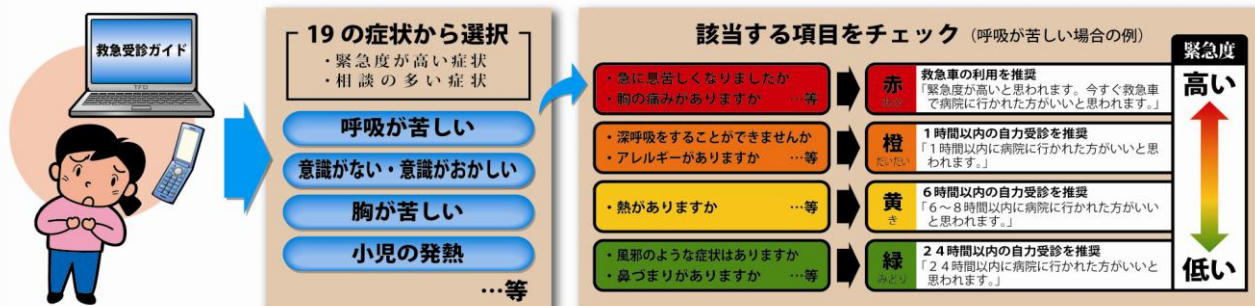
(パソコン、携帯電話、スマートフォン等からご利用になれます。)

東京消防庁ホームページ上で平成24年4月1日からサービス開始

東京版 救急受診ガイド

病院へ行く？救急車を呼ぶ？ 急な病気やけがで迷ったら

病気やけがのときに、「病院に行くべきか？」「救急車を呼ぶべきか？」の目安がパソコンや携帯電話で確認できる便利なツール「東京版 救急受診ガイド」のサービスを開始します。



※救急受診ガイドは救急医学会の監修により東京都医師会が作成したものです。

【質問に答えて緊急度などを確認できます】

- ・東京版救急受診ガイドで使われる病気やけがの緊急度は、赤、橙、黄、緑の4段階に色分けしています。
- ・症状などについての質問に答えることで、医療機関の受診時期の目安や診療科目等をアドバイスします。
- ・緊急度は、年齢、歩行可否、既往症等により、高くなる場合があります。

携帯電話
からはコチラ



スマートフォン
からはコチラ



お問合せ先

〔 多摩消防署 警防課 防災安全係 〕
電話 042-357-0119

東日本大震災にともなう多摩市避難者への取り組み

平成23年3月11日午後2時46分東北地方太平洋沖地震の発生により、多摩市へ避難されてきている皆様に対し「TAMAさくらカード」を発行しております。このカードを掲示することにより、多摩市独自の支援を実施しています。

- 1 各種証明手数料の減免
- 2 母子手帳の交付
- 3 ごみ袋の無償配布
- 4 体育施設の無料利用
- 5 各種登録手数料の免除
- 6 有料駐輪場を無料にて開放
- 7 就学援助
- 8 図書館利用
- 9 その他

TAMA さくらカード



ごみ袋の無償配布



月2回たま広報等を郵送



これからも息の長い被災者への支援が実施できるよう、全力を挙げて取り組んでいきます。詳しい内容は、公式HPをご覧ください。

東京防災隣組第一回認定団体が市長へ報告

平成24年4月15日(日)13時30分から都議会議事堂1階都民ホールにて認定式が行われ、都営聖ヶ丘一丁目アパート自治会(23区26団体、多摩地区10団体が該当)が認定を受けました。

これを受け、5月1日(火)都営聖ヶ丘一丁目アパート自治会から市長への報告会を行いました。



都営聖ヶ丘一丁目アパート自治会は、毎日見守りパトロールを実施するなど徹底した災害時要援護者の把握や独自の要援護者リストを作成するなど、地域に根ざした様々な活動を行っています。



【東京防災隣組とは?】

向こう三軒両隣をはじめ、町会や自治会さらにはPTA、青年会、企業、商店街、学校など地域内の様々な主体が参加して行う意欲的な共助の活動を行う団体として、区市町村長の推薦に基づき、知事が認定した団体をいいます。

平成23年度「借上げバス助成」利用状況

自主防災組織の育成・活動の活性化等のために、多摩市が民間バスを借り上げ、自主防災組織へ提供しています。主に、東京消防庁防災教育センター(立川防災館等)等に見学に行き、訓練を実施することができます。(事前に施設予約が必要です。)平成23年度は、下記の9団体が利用しました。

24年度もすでに4団体(7月現在)が利用しています。事前に防災安全課までお問い合わせください。

実施日	自主防災組織名	目的地	参加人数	バス種類
4/3	諏訪五丁目自治会防災対策委員会	立川防災館	23	中型バス
6/26	あたご団地自治会第3ブロック自主防	本所防災館	39	〃
6/12	豊ヶ丘5-1防災対策委員会	立川防災館	26	小型バス
10/9	聖ヶ丘1丁目アパート自治会防災委員会	〃	46	大型バス
10/16	小野路自治会防災対策委員会	〃	25	小型バス
1/22	愛宕団地自治会第4ブロック自主防	東京臨海広域防災公園	36	中型バス
2/21	永山団地自治会 4-4 街区北防災委員会	立川防災館	16	小型バス
2/26	永山ハイツ自主防災会	〃	35	中型バス
3/17	永山 4-4 南自主防災会	本所防災館	22	〃

平成23年度「合同訓練」補助金利用状況

2つ以上の自主防災組織が合同で行う防災訓練に対して、その訓練経費の一部として、5万円を限度に多摩市が助成しています。平成22年度は、下記の8団体が利用しました。24年度もすでに4団体(7月現在)からの申請がありました。補助金利用に関しては、事前に防災安全課までお問い合わせください。



実施日	名称	自主防災組織名	訓練内容	助成金内訳	場所・参加人数
6/12	桜ヶ丘防災デー	桜ヶ丘四丁目自治会防災対策委員会 外4組織	炊き出し、初期消火、転倒家具救出等	炊き出し材料、訓練用資材、印刷等	ゆう桜ヶ丘・210人
8/20	永山5丁目防災夏まつり	タウンハウス永山-5防災対策委員会 外3組織	炊き出し、応急救護、地震体験、AED等	炊き出し材料、訓練用資器材等	永山第4公園・400人
9/11	鶴牧・南野地区合同防災訓練	鶴牧五丁目南町会防災対策委員会 外3組織	炊き出し、救出、消火、避難、防災講演等	炊き出し材料、訓練使用資器材等	鶴牧第1公園、南鶴牧小・170人
10/23	諏訪・馬引沢地区合同防災訓練	馬引沢自治会防災対策委員会 外13組織	避難、避難所設営、煙体験、AED等	印刷費、炊き出し材料、写真等	諏訪小学校・395人
10/29	聖ヶ丘・連光寺地区合同防災訓練	東部団地自治会防災委員会 外7組織	炊き出し、救出救助、AED、初期消火等	炊き出し材料、印刷代、資器材等	聖ヶ丘小学校・608人
11/13	聖ヶ丘1丁目地区合同防災訓練	都営聖ヶ丘1丁目アパート自治会自主防災本部 外1組織	初期消火、AED、隔壁板破壊、通報等	炊き出し材料、訓練用資器材等	都営アパート集会所広場等・170人
2/26	連光寺地区合同防災訓練	向の岡自治会防災対策委員会 外3組織	応急救護、初期消火、煙体験等	炊き出し材料、訓練使用資器材等	連光寺小学校・180人
3/18	鶴牧地区5団地合同防災訓練	ハイライズタウン鶴牧団地自主防災消防会 外4組織	地震体験、初期消火、AED、煙体験等	炊き出し材料、訓練使用資器材等	大松台小学校・159人